

■ 活動報告

◆平成29年度とちぎ「森の楽校」グリーンスタッフ養成講座（森林と野生獣）を開催しました

（栃木県、（公社）とちぎ環境・みどり推進機構）

12月16日（土）に、塩谷町船生の宇都宮大学農学部附属演習林で、宇都宮大学農学部 小金澤正昭名誉教授の指導により、24名の参加のもと、グリーンスタッフ養成講座（森林と野生獣）を開催しました。

「多様な森林の育成と森林生態系」と題した講義で、シカやクマの森林被害及びその防ぎ方、背景や原因を学びました。また、数種類ある被害防止資材のなかで、参加者が作製できるPPバンド（PP：ポリプロピレン…熱可塑性樹脂）を使って、クマによる樹皮剥ぎを防止するベルトを一人3本ほど作りしました。先生の指導を受けながら作りましたが、約半数の参加者は作る手順が飲み込めず、苦勞していました。このベルトは木が成長しても締めつけないもので、参加者たちは、「樹名板等の取り付けに利用出来る」などと感心していました。午後はこのベルトを持って演習林に入り、優良木を選んで膝の高さのところに取り付けました。帰り道では、最近のクマによる被害箇所寄って、被害木を見せていただき、講義で説明していただいたクマ剥皮の特徴が確認でき、参加者はシカとクマの剥皮の違いを再認識していました。



講義中の小金澤名誉教授



剥皮防止用ベルトの作製



剥皮防止用ベルトの取り付け



参加者集合写真